

# JIS Z 8208 : 2007 改正 印刷校正記号一覧

- この“印刷校正記号一覧”は、JIS Z 8208 : 2007 (印刷校正記号) に示されている校正記号とその使用例を、日本印刷産業連合会が再編集したものです。JIS Z 8208 では、印刷校正記号の詳細な使い方を規定しています。詳しい内容は同規格票 (入手先: 日本規格協会, <http://www.jsa.or.jp/>) を参照してください。
  - JIS Z 8208 では、記号を書き込むための引出し線などについて、次のように規定しています。
    - ・校正刷への修正及び出力見本への組版指定の指示の記入は、赤色を使用する。ただし、補助的な指示を記入する場合、又は修正が紛らわしい場合には、赤色以外を使用してもよい。
    - ・引出し線は、原則として修正箇所の近くの余白に引き出す。引出し線は、長く引き出さないほうがよい。
    - ・引出し線は、原則として校正が終わった方向に引き出す。
    - ・引出し線は、同一行中にある修正箇所の前後にくる対象の文字・記号 [校正刷又は出力見本に印刷されている文字・記号] に掛けないほうがよい。
    - ・引出し線は、別の引出し線と交差させないほうがよい。
    - ・指示の文字・記号及びその他の指示は、対象の文字・記号の上には書かないほうがよい。
- \*表1の点線以下に示した記号は、線の上に掲げた記号以外に使用できる許容の方法です。表2では、原則として“又は”以下が許容の方法です。

表1 修正の指示及び組版指定に用いる主記号

修正又は組版指定の内容	記号及び使い方例	
	記号	記入例(上・左)と修正結果(下・右)
<b>1.1 文字・記号の修正</b>		
1字の修正 (1.1.1)		取り換える 取り替える <span style="color: red;">替</span>
2字以上の修正 (1.1.1)		本を規格を 本の企画を <span style="color: red;">の企画</span>
小書きの仮名に直す (1.1.2)		グリ△ド グリッド
直音を示す仮名に直す (1.1.3)		か▽ての か▽ての
削除し、詰める (1.1.4)		原稿の作成 原稿作成 責任校了と 責了と <span style="color: red;">トル</span>

修正又は組版指定の内容	記号及び使い方例	
	記号	記入例(上・左)と修正結果(下・右)
削除し、空けておく (1.1.5)		組版は一般に 組版 一般に <span style="color: red;">トルアキ</span>
文字・記号を挿入する (1.1.6)		合せて 合わせて <span style="color: red;">※入ル</span>
文字を入れ替える (1.1.7)		どじ左 左どじ 下から上に並べ 上から下に並べ
修正の取りやめ (1.1.8)	<span style="color: red;">イキ</span>	組版方法 イキ 組版方法
<b>1.2 ルビの修正</b>		
ルビを付ける (1.2.1)		本の平と 本の平と <span style="color: red;">ひら</span>
ルビを取り替える (1.2.2)		上付き 上付き <span style="color: red;">わ</span>

修正又は組版指定の内容	記号及び使い方例	
	記号	記入例(上・左)と修正結果(下・右)
ルビを削除する(1.2.3)		はくお 箱押し はくお 箱押し
ルビを挿入する(1.2.4)		ベースライン 並び線 ベースライン 並び線
<b>1.3 圏点等の指示</b>		
圏点(傍点)を付ける(1.3.1)		ひらの文字 ひらの文字
傍線・下線・抹消線を付ける(1.3.2)		ひらの文字 傍線 ひらの文字 下線 ひらの文字 抹消線 ひらの文字 ひらの文字
<b>1.4 文字書式の変更</b>		
文字サイズ又は書体を変更する(1.4.1)		8ポ る(次項参照)。 る(次項参照)。 原稿は 原稿は ゴチ 原稿は 原稿は
イタリックに直す(1.4.2)		<i>italic</i> <i>italic</i> $\sin x$ $\sin x$
立体に直す(1.4.3)		<i>revised</i> proof revised proof
ボールドに直す(1.4.4)		<b>bold</b> <b>bold</b> $a+b$ $a+b$

修正又は組版指定の内容	記号及び使い方例	
	記号	記入例(上・左)と修正結果(下・右)
ボールドイタリックに直す(1.4.5)		<b><i>bold</i></b> <b><i>bold</i></b> $a+b$ $a+b$
大文字に直す(1.4.6)		capital Capital Capital CAPITAL
小文字に直す(1.4.7)		SMALL letter small letter Small Letter small letter
スモールキャピタルに直す(1.4.8)		Tomonaga TOMONAGA B.C. B.C.
下付き文字に直す(1.4.9)		$\text{Na}_2\text{SO}_4$ $\text{Na}_2\text{SO}_4$
普通の文字に直す(1.4.10)		$\text{C}_2\text{F}_2\text{S}_2$ $\text{CuFeS}_2$
上付き文字に直す(1.4.11)		$1\text{ t} = 10^3\text{ kg}$ $1\text{ t} = 10^3\text{ kg}$
普通の文字に直す(1.4.12)		$1\text{ km} = 10^3\text{ m}$ $1\text{ km} = 10^3\text{ m}$
上付き文字を下付き文字に直す(1.4.13)		$a^2 + b^2 = c^2$ $a_2 + b_2 = c_2$
下付き文字を上付き文字に直す(1.4.14)		$x_2 - y_2 = 0$ $x^2 - y^2 = 0$
縦中横に直す(1.4.15)		12月13日 12月13日
合字に変更する(1.4.16)		preflighting preflighting

修正又は組版指定の内容	記号及び使い方例	
	記号	記入例(上・左)と修正結果(下・右)
<b>1.5 文字の転倒, 不良文字及び文字の並びの修正(活字組版などの場合)</b>		
正しい向きにする(1.5.1)		字の <del>逆</del> 倒 字の転倒
不良の文字を直す(1.5.2)		字が <del>下</del> 良 字が不良
文字の並びを直す(1.5.3)		字の <del>並</del> び 字の並び
<b>1.6 字間の調整</b>		
空いている字間をベタ組にする(1.6.1)		ベタ 校正刷 校正刷
詰め組をベタ組にする(1.6.2)		ベタニモドス 原稿と校正刷 原稿と校正刷
字間の空き量を指示する(1.6.3)		四分 組版指定 組版指定 四分アキ 原稿編集 原稿編集
<b>1.7 改行, 改丁・改ページ等及び送りの指示</b>		
改行に変更する(1.7.1)		を行う。 <u>この場合には次の作業を行う。</u> を行う。 この場合には次の
改行を取り消し, 行を続ける(1.7.2)		を行う。 <u>この場合には次の作業を行う。</u> を行う。この場合には次の作業を行う。
指定の位置まで文字・行などを移動する(1.7.3)		初校 最初の校正刷が届 けられると初校作業 初校 最初の校正刷が届 けられると初校作業

修正又は組版指定の内容	記号及び使い方例	
	記号	記入例(上・左)と修正結果(下・右)
改丁・改ページ・改段を指示する(1.7.4)	改丁 改ページ 改段	
文字の送りを指示する(1.7.5)		その関係記事の <u>前</u> に配置しないようにする。 関係記事の前に配置しないようにする。 <u>前後の</u> のアキが <u>ほぼ同一</u> になるように決める。 の前後のアキが <u>ほぼ同一</u> になるように決める。
行の送りを指示する(1.7.6)		
<b>1.8 その他の修正</b>		
けい(野)線を指示する(1.8.1)	オモテ ウラ 中細 9ポ13倍	<u>ウラ</u> <u>9ポ6倍</u>
<b>1.9 校正作業の進行に対する指示</b>		
再校を指示する(1.9.1)	要再校	
三校を指示する(1.9.2)	要三校	
念校を指示する(1.9.3)	要念校	
責任校了を指示する(1.9.4)	責了 責任校了	
校了を指示する(1.9.5)	校了	



表2 修正の指示及び組版指定に用いる併用記号（表1の主記号と併用して用いる記号）

修正又は組版指定の内容	記号	修正又は組版指定の内容	記号	修正又は組版指定の内容	記号
<b>2.1 文字・記号の種類等を示す併用記号</b>		ハイフンを示す (2.1.11)		熟語ルビの指示 (2.2.3)	
文字サイズの指示 (2.1.1)	ポ Q	シングル引用符又はダブル引用符を示す (2.1.12)		<b>2.3 空き量の指示</b>	
書体の指示 (2.1.2)	明又はミン ゴチ又は ゴ、 アンチ 上記記号で指示できない場合、正確なフォント名で指示する。	アポストロフィ及びプライム記号を示す (2.1.13)		ベタ組の指示 (2.3.1)	ベタ
欧文のプロポーションの文字にする (2.1.3)	欧文 又は オウブン	ダブルミニユートを示す (2.1.14)		全角アキの指示 (2.3.2)	全角 
全角の文字にする (2.1.4)	全角	斜線を示す (2.1.15)		二分アキ、三分アキ、四分アキ、二分四分アキなどの指示 (2.3.3)	二分 三分 四分 二分四分
半角の文字にする (2.1.5)	半角 又は 二分	紛らわしい文字・記号を指示する (2.1.16)		2倍アキ、3倍アキ、4倍アキなどの指示 (2.3.4)	2倍 又は 3倍 又は 4倍
四分角の文字にする (2.1.6)	四分	複数箇所を同一文字に直す (2.1.17)		均等割りにする (2.3.5)	
句読点を示す (2.1.7)		<b>2.2 ルビの指示</b> (記号の下に使用例を示す)		行取りの指示 (2.4.1)	2行ドリ中央 2行ドリ 1行アキ 又は 2ドドリ中央 2ドドリ 1ドアキ
中点類を示す (2.1.8)		モノルビの指示 (2.2.1)		そろえの指示 (2.4.2)	上ソロエ 左ソロエ 下ソロエ 右ソロエ センター
リーダを示す (2.1.9)	 2点リーダ  2点	グループルビの指示 (2.2.2)			
ダッシュ（ダッシュ）を示す (2.1.10)	縦組の場合  横組の場合  又は 二分				

JIS Z 8208 : 2007 改正 印刷校正記号一覧

2007年1月22日 第1版第1刷発行

編集 社団法人日本印刷産業連合会

発行者 社団法人日本印刷産業連合会

〒104-0041 東京都中央区新富1-16-8 日本印刷会館内

電話 03-3553-6051 FAX 03-3553-6079

URL <http://www.jpfi.or.jp/>

© 社団法人日本印刷産業連合会 2007